

北前船の里資料館

北前船の里資料館は、「北前船」の歴史を記念している。北前船とは、江戸時代（1603–1867）から20世紀の変わり目にかけて、日本海側で貿易を行っていた木造りの船である。この資料館は、1878年に建てられた裕福な北前船船主の見事な邸宅内にある。

この邸宅の随所に使用されている高価な建材は、北前船の航路上で集められた。こうした建材で造られたものには、秋田杉の一枚板でできた大戸や、大広間に広がる巨大な松の梁などがある。多くの木材の表面は、光沢のある漆でコーティングされている。

この資料館の展示物は、航海道具、縮尺模型、船筆筭に特化している。また、提供されている詳細な情報は、北前船での船上生活を細やかに描写している。

北前船船主の多くは、橋立地区周辺の出身だった。彼らの堂々たる、独特な赤い瓦屋根の邸宅のいくつかは、まだこの地区に建っている。